

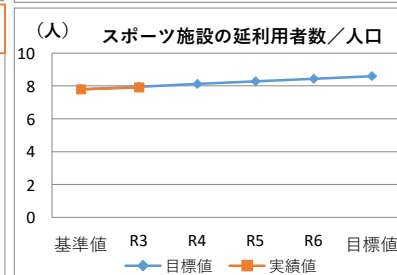
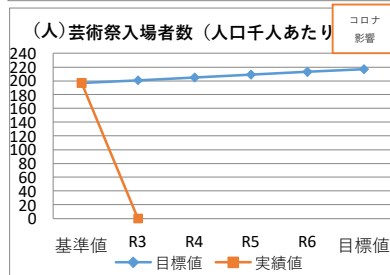
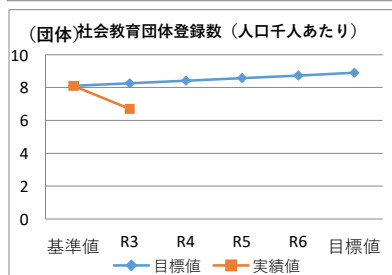
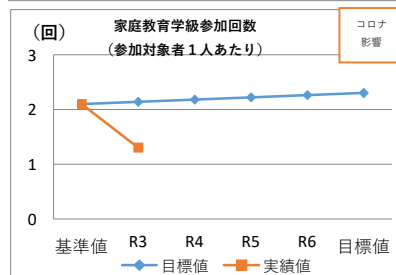
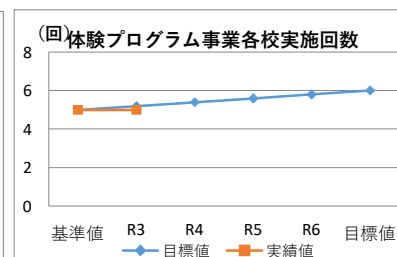
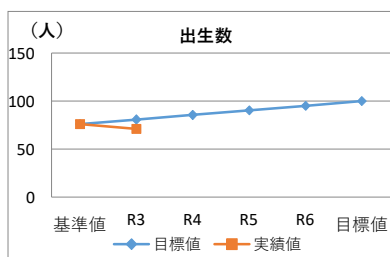
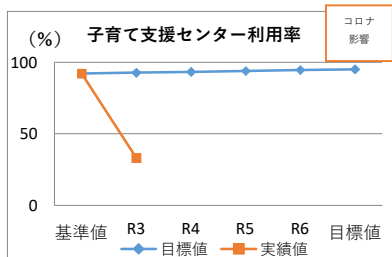
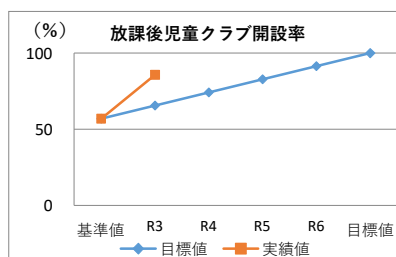
評価シート

分野2	子育て・教育
施策の方向	未来を担う子供たちが健やかに育つよう、地域ぐるみで子育てを応援するとともに、教育内容の魅力化に取り組みます。 また、子どもから大人まで誰もが参加できる学習機会の提供や文化・芸術、スポーツに親しむ環境づくりを推進します。
施策1	子育て支援の充実
施策2	学校教育の充実
施策3	青少年の健全育成
施策4	生涯学習体制の充実
施策5	歴史・文化の伝承と芸術の振興
施策6	生涯スポーツの振興

関係課：市民保健課、学校教育課、生涯学習課、福祉事務所、企画課

◆目標値の達成状況

指標名	R元年 基準値	実績値 (R3実績)	実績値 (R4実績)	実績値 (R5実績)	実績値 (R6実績)	R7 目標値
放課後児童クラブ開設率	57.0%	85.7%				100.0%
子育て支援センター利用率	92.0%	33%				95.0%
出生数	76人	71人				100人
体験プログラム事業各校実施回数	5回	5回				6回
家庭教育学級参加回数(参加対象者1人あたり)	2.1回	1.3回				2.3回
社会教育団体登録数(人口千人あたり)	8.1団体	6.7団体				8.9団体
芸術祭入場者数(人口千人あたり)	197人	0人 (R3中止)				217人
スポーツ施設の延利用者数/人口	7.8人	7.9人				8.6人



◆施策・主な取組の進捗状況

評価		
A	80～100%	基本施策の達成に向け、概ね順調に実施している。
B	60～80%	基本施策の達成に向け、一部遅れはあるが実施している。
C	40～60%	基本施策の達成に向け動いている。（半分程度の成果を上げることができた。）
D	20～40%	基本施策の達成に向け動き始めている。（取組に着手し、動き始めることはできた。）
E	0～20%	ほとんど手をつけていない。（取組に着手することができなかった。）

★：重点事業 【○】新規・拡充事業

施策1		子育て支援の充実						
1-1	子育て等の相談体制を強化します							
主な取組		担当課	評価	評価の根拠	課題	今後の展開	・継続 ・改善 ・中止	外部評価
産前、産後ケアや母子健康管理の強化		市民保健課	B	母子手帳交付時に産前産後ケアについて紹介し、出産前後の不安の強い妊産婦に対応した（R2年度1件）。育児相談を子育て支援センターと連携し実施。利用率の向上を図った。プレパパママセミナーを日曜開催にし、母だけでなく父の参加を増やすことができた。				
地域子育て支援センターによる相談体制の強化		学校教育課	D	R3もコロナ禍であったため、地域子育て支援センターの利用状況は2年連続で低迷している。		今後、感染状況を見ながら活動を通常化していく。		
男性の育児参加の啓発		福祉事務所企画課	D	広報誌での男女共同参画の啓発を実施。		今後は家事講座などを実施する。		
不妊治療及び不育症に対する支援		市民保健課	A	不妊治療等の助成金を15組に助成した。				
子ども家庭総合支援拠点設置によるひとり親家庭への支援強化		福祉事務所	B	令和3年4月1日に福祉事務所内に「子ども家庭総合支援拠点」を設置し運用開始。令和3年度相談件数134件。		今後も継続していく。		
要保護児童対策地域協議会による関係機関と連携した児童虐待防止対策の強化		福祉事務所	B	要保護児童対策地域協議会実務者会議を3回開催し、関係機関との連携に努めた。		今後も継続していく。		
1-2	子育てサービス等を充実します							
主な取組		担当課	評価	評価の根拠	課題	今後の展開	・継続 ・改善 ・中止	外部評価
児童手当や子ども医療等、子育て世帯に向けた経済的支援の強化		福祉事務所	A	児童手当・子ども医療費について助成を実施した。				
子育てアプリやSNS等を活用した子育て情報の発信		福祉事務所	B					
★放課後児童クラブの拡充		学校教育課	A	市内7校中、6校開設している		令和4年度に白浜小学校放課後児童クラブを開設予定であり全学区への設置を目指す。		
一時預かり事業、病児保育事業及びファミリーサポートセンター事業の実施		学校教育課	D	・病児保育事業及び一時預かり事業を実施した。 ・ファミリーサポートセンター事業は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、活動実績はなかった。		一時預かり事業の利用実績は低迷しているが、コロナ禍の影響と考えられるため、活動を継続していく。		
多様な世代が集まることのできるイベントの開催や拠点整備		福祉事務所	B	下田子育て支援ネットワークの主催により、「下田わくわくパークこれば」を市内公共施設等を利用し、6回開催した。また、静岡県の「ふじのくに地域少子化突破展開事業」の採択を受け「お父さんと一緒の子育て講座」を2回開催した。				
子育てサポーター養成講座		福祉事務所学校教育課	D	「子育てサポーター養成講座」を4回開催した。		令和4年度継続事業。		

1-3	就学前教育を充実します						
主な取組	担当課	評価	評価の根拠	課題	今後の展開	・継続 ・改善 ・中止	外部評価
幼児教育・保育の実施内容や定員の在り方の検討	学校教育課	C	子ども・子育て会議を6回(1回は書面会議)開催し、令和5年4月1日をもって下田幼稚園を認定こども園と統合することを決めた。				
低年齢児保育の受入体制の整備	学校教育課	D					
教育・保育事業の人材の確保・育成	学校教育課	D					

施策2	学校教育の充実						
2-1	教育環境を整備します						
主な取組	担当課	評価	評価の根拠	課題	今後の展開	・継続 ・改善 ・中止	外部評価
★中学校の再編等、少子化人口減少社会に対応した学校づくり	学校教育課	B	中学校再編整備事業は、新中学校開校に向け、R4.3に全ての工事が終了。	少子化人口減少社会に対応した学校づくり	少子化人口減少社会に対応した学校づくりに向け、グローバルCITYプロジェクトの推進、小中ととも高を含めた連携を図る。		
GIGAスクール構想に基づく、ICT機器の計画的整備	学校教育課	A			GIGAスクール構想に基づき、R2に整備したICT機器の適正な管理とともに使用用途に応じた拡充を図る。		
各種指導員の配置による、一人ひとりに応じた学びの支援	学校教育課	B					
臨床心理士等の活用による特別な支援を要する児童・生徒への対応の強化	学校教育課	B	R3.9補正にて特別支援教育支援員を更に5名拡充、適応指導教室指導員3名を配置し、発達に課題をもつ児童生徒や不登校傾向が見られる児童生徒への対応を進めるとともに、臨床心理士を中心とした巡回相談を年15回実施した。		今後も児童生徒一人ひとりに応じた教育環境の拡充を図る。		
2-2	教育内容の魅力化を図ります						
主な取組	担当課	評価	評価の根拠	課題	今後の展開	・継続 ・改善 ・中止	外部評価
★自然や歴史、文化を踏まえた体験プログラムの充実	学校教育課	B	コロナ禍であったが、全小中学校において体験プログラム事業を実施し、下田の自然や歴史、文化を児童生徒が主体的に学んだ。				
プログラミング教育等、情報活用能力の育成	学校教育課	B	プログラミング教育、情報活用能力の育成を図るため、市内ICT担当教職員からなるICT教育環境整備検討委員会において研修会を行い、情報共有を図るとともに各校に持ち帰り、授業の場で反映させた。				
外国語指導助手等の全校配置や、大学との連携による英語教育の推進	学校教育課	B	全小中学校に外国語指導助手及びALTを配置し、外国語・英語教育の充実を図った。				
学校給食における地産地消の推進	学校教育課	A	コロナ交付金を活用し、地場産品を利用した学校給食を提供し、地産地消の推進を図った。				

2-3	家庭、地域との連携を強化します							
主な取組		担当課	評価	評価の根拠	課題	今後の展開	・継続 ・改善 ・中止	外部評価
地域ぐるみで児童・生徒を支える体制づくり(コミュニティ・スクール)の検討		学校教育課	D	静岡県教育委員会よりコミュニティ・スクール(以下「CS」という)担当職員を講師に招き、教育委員会職員のCSの理解を深めた。		R5下田中でのCS設置に向け、R4にCS組織の検討を進める。		
地域の見守り活動の強化		学校教育課	C	R3もコロナ禍であったため、地域子育て支援センターの利用状況は2年連続で低迷している。		今後、感染状況を見ながら活動を通常化していく。		

施策3	青少年の健全育成							
3-1	青少年の健全育成を推進します							
主な取組		担当課	評価	評価の根拠	課題	今後の展開	・継続 ・改善 ・中止	外部評価
非行、被害防止のキャンペーンの実施		生涯学習課	B	青少年の非行・被害防止について街頭キャンペーンや挨拶運動を行い、10月には「子供・若者支援強調月間」の一環として、下田市で静岡県大会を開催した。				
SNSやスマートフォン等の使用に関するルールの啓発		生涯学習課	E					
青少年の見守り活動の強化		生涯学習課	A					
家庭教育学級などの地域活動への参加促進		生涯学習課	A	家庭教育学級ではコロナ禍で活動が制限される中でも、地域での活動や学習を行った。				
3-2	文化や芸術、スポーツなどの青少年活動との連携を強化します							
主な取組		担当課	評価	評価の根拠	課題	今後の展開	・継続 ・改善 ・中止	外部評価
各地区育成会等の活動の支援		生涯学習課	A	まどが浜海遊公園における文化イベントでの各種文化・スポーツ団体の発表、活動の周知について検討を行った。				
豊かな自然環境などを活かした親子体験教室の実施		生涯学習課	B					

施策4	生涯学習体制の充実							
4-1	学習施設の再編、整備、連携を図ります							
主な取組		担当課	評価	評価の根拠	課題	今後の展開	・継続 ・改善 ・中止	外部評価
生涯学習の拠点となる中央公民館の整備		生涯学習課	C	図書館の整備については、図書館協議会、図書館整備庁内検討委員会にて検討を続けてきている。		今後は整備計画の策定に向け、まず、下田市立図書館整備計画基礎調査を実施する。既存事業の継続と、新規事業の企画により、市民が本に親しむ機会を広げたい。		
★情報拠点・交流拠点機能を備えた新たな図書館の検討		生涯学習課	D					
公民館や図書館などの施設の連携による学習機会の創出		生涯学習課	D	令和3年度にはコロナの影響で開催できなかった公民館講座を、感染状況等を見ながら開催し、市民の学習機会の創出に努める。中央公民館の整備については、令和3年度から4年度にかけて、キュービクルの更新を行った。				

4-2	学習活動を推進します							
主な取組		担当課	評価	評価の根拠	課題	今後の展開	・継続 ・改善 ・中止	外部評価
市民ニーズに応じた学習プログラムの提供		生涯学習課	D	定期的に公民館講座や寿大学を実施し、市民が講師になる講座や、各種分野の団体との共同により様々な種類の講座を開催し、多くの市民に受講いただいた。				
社会教育団体等の自主的な学習活動の支援		生涯学習課	D	おはなし会・ファーストブックをボランティアと協同で実施することにより、子どもの読書活動の推進を図ることができた。大人（団塊の世代、高齢者）のための行事の企画を増やし、幅広い世代に対する読書活動の推進を図った。 社会教育団体等へ一定のルールのもと施設使用料の減免を行い、学習活動の機会の増大に寄与した。				
学習成果を地域で活かせる仕組みの構築		生涯学習課	C					

施策5		歴史・文化の伝承と芸術の振興						
5-1		文化施設の整備を図ります						
主な取組		担当課	評価	評価の根拠	課題	今後の展開	・継続 ・改善 ・中止	外部評価
★市民文化会館の改修の実施		生涯学習課	D	令和3年度については、大ホール天井改修工事の実 施設計委託を行った。		建設から30年以上経過し耐用年数を超えた設備が多 く、安全面や、適切な運営に支障を来す可能性がある ため、更新を適切に行っていく。 また、残り十数年で建物自体が耐用年数を迎えるた め、文化施設としての在り方についても考えていく必 要がある。		

5-2	文化・芸術活動の活性化を図ります							
主な取組		担当課	評価	評価の根拠	課題	今後の展開	・継続 ・改善 ・中止	外部評価
文化事業や講座等の開催		コロナ 影響	生涯学習課	B	令和3年度については、新型コロナウイルス感染拡大により下田市芸術祭が2年連続の中止となったが、連続歴史講座「南豆の歴史を後世に」計4回の講座の実施、中止となった黒船祭で出演を予定していた団体に発表の機会を提供する「"Hug Heart"～下田を元気に！応援ステージ～」の実施など文化芸術振興に係る各種事業を行った。			
芸術祭など文化団体等が行う事業への支援		コロナ 影響	生涯学習課	C				
文化のまちづくり計画の策定			生涯学習課	D		引き続き各種事業の継続、発展に努めつつ、今後は文化まちづくりに係る取り組みについても展開を検討していく。		

5-3	文化財などを保存、継承、活用します							
主な取組		担当課	評価	評価の根拠	課題	今後の展開	・継続 ・改善 ・中止	外部評価
吉田松陰寓寄処の整備改修		生涯学習課	C			今後、県指定史跡吉田松陰寓寄処の計画的な整備改修も含め、市内の文化財の保存・活用の推進に一層取り組んでいく。		
市史(通史編、資料編)の刊行【○】		生涯学習課	B	令和3年度には市史編さん事業の一環として、『年表下田市史』を刊行し、下田市の歴史の普及・啓発に努めるとともに、今後刊行を予定している市史刊行物の資料の調査等を行った。				
郷土の文化財の調査、保存、継承、活用		生涯学習課	C					
郷土の歴史や文化の情報発信の強化		生涯学習課	C					

施策6		生涯スポーツの振興						
6-1		スポーツ施設の整備を推進します						
主な取組		担当課	評価	評価の根拠	課題	今後の展開	・継続 ・改善 ・中止	外部評価
既存スポーツ施設の維持・改修【○】		生涯学習課	A	下田市民スポーツセンター第1会議室の空調改修工事やコロナ対策のための空気清浄機等を購入。				
学校施設の一般開放の推進		生涯学習課	A	体育施設はコロナの影響により開放出来ない時期や中学校の統廃合による体育館の減少により、社会教育団体の使用に関する調整が必要になったりと困難な状況もあったが、現在は大きな問題もなく対応できている。		今後は、減少した体育施設についてや社会教育団体を市民に周知することを検討していく。		
6-2		ライフステージに応じたスポーツ活動を推進します						
主な取組		担当課	評価	評価の根拠	課題	今後の展開	・継続 ・改善 ・中止	外部評価
市民が気軽に参加できるスポーツ教室や大会の開催		生涯学習課	B	下田市スポーツ推進委員の活動として、5月にボッチャ教室、3月にグラウンドゴルフ大会を開催。第50回下田・河津間駅伝競走大会については、コロナの影響により中止となってしまったが、50回の記念イベントである特別表彰式を行った。				
スポーツ団体等の自主的な活動の支援		生涯学習課	C	下田市体育協会には補助金による各協会への支援や委託による市町駅伝への協力、スポーツ祭を開催することができた。				
ライフステージに合わせた指導者の養成		生涯学習課	C					
スポーツ推進委員や体育協会等との連携によるスポーツの振興【○】		生涯学習課	D					

6-3	スポーツ環境を整備します						
主な取組	担当課	評価	評価の根拠	課題	今後の展開	・継続 ・改善 ・中止	外部評価
マリンスポーツの大会誘致	生涯学習課	C	アウトドアスポーツ合宿宿泊支援を振興公社へ委託し、地域おこし協力隊2名と協力し、下田市内に宿泊するスポーツ合宿の誘致に努めた。				
スポーツ施設、宿泊施設と連携した合宿誘致の強化【○】	生涯学習課	B			今後、スポーツ合宿・大会誘致推進協議会を設置し、合宿・大会誘致に努める。		
総合型地域スポーツクラブの検討	生涯学習課	C					